2017-2018 年度今治ロータリークラブ週報 No.29

第 ２９ 回 例 会 報 告（3月1日）

【 出　席　報　告 】

・会員数　５０名　・出席数　３２名　・欠席数　１８名
・当日出席率　６７．３９％　・前々回修正出席率　９５．６５％
＜欠席会員＞青野(淳)、檜垣(俊)、平田、吉良、小堀、久米、眞鍋、松木(久)、宮道、中村、大澤、坂本、田崎、辰巳、田中
〔免除会員〕青野(明)、檜垣(巧)、白石
〈2/8 欠席補填〉(1/30 今治南)原、檜垣(俊)、近藤、松木(徹)、中村、大澤、岡田、岡本、田中　(2/3ＩM)大河内、矢野

◇会長報告・ロータリー財団より大河内会員へポール・ハリス・フェローピンと認定証が届きましたので贈呈しました。

◇幹事報告・3月のロータリーレートは1ドル108円です。
・次年度クラブ計画書名簿作成にあたり、役職名・連絡先等、訂正・変更がございましたらご連絡ください。
・4月5日(木)18時30分より、マリエール今治にて花見夜間例会を開催します。家族例会でイベント盛りだくさんの予定です。ご家族の参加費は配偶者4,000円、お子さま2,000円です。出欠を3月23日(金)までにご連絡ください。

国際奉仕委員会アワー

◆吉田透委員長:ゴルフが趣味でテレビでもよく観戦する、という話をスポーツ観戦が趣味の先輩にしました。すると現地で観たら全然違うよ、とアドバイスされました。そこでどうせ観るならマスターズ、と一念発起し、アメリカ・ジョージア州のオーガスタナショナルゴルフクラブへ向かったのです。2012年のことでした。▼貯めていたマイルを使って成田からシンガポール経由でアトランタへ。ここから現地出発のツアーに参加したのですが、その費用が80万円弱。高額な理由は観戦チケットが一般販売されておらず、球聖ボビー・ジョーンズが開設して以来、オーガスタNGCとマスターズに出資してきたパトロンを通して入手するほかないからです。かくしてアトランタからオーガスタへはツアー客が相乗りして2時間ほどの車の旅。毎年観戦しているという福島のロータリアンにも出会いました。▼私が観戦したのはパー3コンテストが行われる水曜の練習ラウンドと木金の予選の合計3日間。練習ラウンドを観ることにしたのはこの日のみカメラ持ち込みが可能だったからです。金属探知機が待ち構える入場ゲートは空港並みの厳重さでした。ラフがなくて広いこと、アーメンコーナーと呼ばれる11～13番ホールの難しさなどは知っていましたが、風は強くないこと、フィル・ミケルソンがいかにファンを大切にしているか、練習場のドライビングレンジの広さなど、実際に見て感じないとわからないこともありました。国際奉仕の現場でも同じことが言えると思います。そこで次はポリオプラスについて医師の立場で西信委員にお話しいただきます。**◆西信正男委員:**ポリオプラスは1985年にロータリーが提唱したポリオ撲滅運動です。1988年にWHOやユニセフが関与し始めた頃はポリオ常在国は125カ国、35万人の患者がいました。ポリオとは急性灰白髄炎、一般名では脊髄性小児麻痺、いわゆる小児麻痺です。人から人への腸管ウイルス感染症で、5歳以下が発症の90%を占めます。そのうち麻痺を発症するのは0.1%程度。日本では1960年に感染者5,606人を数えたことで経口生ポリオワクチンの一斉投与を始めました。その結果、1981年から野生株のポリオは見られておらず、2000年には根絶宣言が出されています。ところで弱毒化生ワクチンは感染流行中にも使えて1回の経口投与で済むため費用も安い反面、440万人に1人の割合でワクチン由来の麻痺を発症することがありました。そこで最近は3度の皮下注射を要するので高額になるものの、ホルマリンでウイルスを殺し、一部に抗原性を持たせて副作用のない不活化ワクチンが使われるようになっています。こうして2016年の感染者はナイジェリア・アフガニスタン・パキスタンの3カ国35人まで減りました。あと少し、皆さんのご協力をお願いします。**◆近藤正人会員:**国際的視点を持った人材を育てるのが国際奉仕委員会の務め。留学やボランティアで海外を訪れる際には相手国をよく知ること、そしていずれ質問されるであろう日本のことも予備知識として持っておくことが大切です。例えばイギリスでは総人口の60%を占めるレイバー(labor＝労働者階級)が話すコックニー(cockney)と呼ばれる英語はまるで発音が違います。渡航の前に気をつけてください。

次 回 例 会（3月8日）

【　職業奉仕委員会アワー　】

＜配偶者誕生祝＞　光藤　廣司氏（3/8）
＜入会記念日祝＞　近藤　正人氏（3/9）　越智　大輔氏（3/9）

〔　笹　〕